

# 国立歴史民俗博物館共同研究棟（連携融合）建設に伴う埋蔵文化財調査 佐倉城跡（歴博第10次）発掘調査現地説明会

日時：平成25年2月3日（日）

（国立歴史民俗博物館 佐倉市文化課（公財）印旛郡市文化財センター）



近代遺構面完掘状況

本調査は、国立歴史民俗博物館共同研究棟の建設に伴い行われた埋蔵文化財調査です。国立歴史民俗博物館（以下歴博）のある地は、近代において佐倉連隊の兵営がおかれた場所です。佐倉連隊の兵営は、明治7～8年（1874～1875年）に置かれ昭和20年（1945年）の終戦まで約70年の間存続しました。その後は、引揚者の寮や佐倉中学校の校舎として使用され、昭和56年には歴博が完成し現在に至ります。発掘調査地点は兵営内のうち、連隊本部棟とその裏側の地点にあたります（3ページ参照）。検出された遺構、遺物は、以下の通りです。

## 検出された遺構

1. 連隊本部棟と雨落ち溝（4ページ）
2. 連隊本部棟と洗面所をつなぐ施設（6ページ）
3. 破壊された洗面所跡（7ページ）
4. トイレ遺構（推定）（8ページ）
5. 暗渠跡（9ページ）

## 検出された遺物

陶磁器類 ジェラール瓦 レンガ 銃弾 銭貨 白い陶製便器 鉄釘 ガラス製品  
（遺物展示コーナーでご覧下さい）